

# 今こそ 若い力で 新しい習志野。

## Report 10 第一回定例会市政報告



謹啓 日頃より、私の政治活動に際し、絶大なご指導、ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございます。

この度の第1回定例会において、平成28年度の新予算の審議が行われました。28年度の予算は約607億円。前年度より約44億円の増加となっており、主要要因として、本格的に始まる新庁舎建設費用が挙げられます。また、歳出の面では生活保護費等を含む扶助費が7億7千万円増となっております。今議会の一般質問では習志野市の財政問題、放課後児童会について質問を致しました。是非、お目通しの上、ご意見、ご要望をお待ちしております。

平成28年3月吉日

習志野市議会議員 関根洋幸

謹白

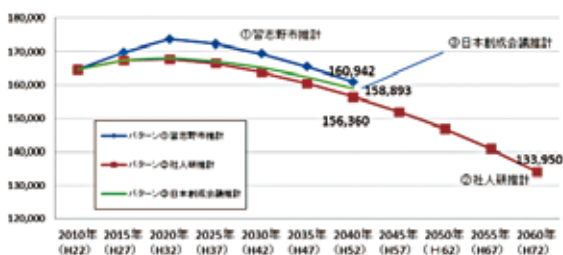


習志野市新庁舎完成予想図

習志野市の人口推計によると、平成53年時には人口減少、少子超高齢化社会が進み、生産年齢人口は60%を切り、三人に一人が高齢者という状態になります。

本市の歳入の半分を占める市税収入等の減少、扶助費の大幅な増加が避けられない中、財政にも大きな影響を及ぼす事が予想されます。

市政運営の根幹である財政について、現在の財政状況、今後の課題について質問をいたしました。



### 習志野市の財政状況と今後の課題

Q 現在の財政状況と今後の課題について伺う。

A 歳入構造については良好であるが、今後の財源確保が難しくなっている。歳出面では施設運営に係る経費をはじめ、扶助費などの経常的な経費が増加しており、財政構造が硬直化している状況である。課題の解決のために既存事業の徹底した見直しや、第一次経営改革大綱の着実な実行を進める。

Q 平成28年度予算において債務残高が大きく増加するが、将来的な負担はどうなるのか。

A 平成26年度末残高の753億円に比べ約135億円増の888億円となる見込みである。主要要因として新庁舎、大久保地区公共施設再生事業であるが、増加した債務のすべてが将来的な負担となるわけではなく、健全化法の算定においても、将来負担率は健全状態である。

※習志野市の将来負担率は8・8% 県内平均は49・1%

Q 本市の経常収支比率は94・4%と県内平均より高い数字となっている。改善のための取り組みは？

A 経常収支比率改善のためには、歳入の確保と歳出の削減の両面からの取り組みが必要。

Q 歳入確保策としてどのような取り組みをしていくのか。

A 取納率向上対策、受益者負担の見直し、資産の有効活用等の取り組みや、「習志野市まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた生産年齢人口増加に向けた着実な取り組み。

Q 歳出削減策としてどのような取り組みをしていくのか。

A 事務事業の見直し、公共施設の再生、民間活力導入の推進や既存事業の徹底した見直し。

Q 事業実施や債務償還のため、基金の確保が必要と考えるが、基金確保の取り組みについて伺う。

A 平成28年度末の基金の残高見込みは、約10.7億円となっており、今後の取り組みとして、公共施設再生計画に基づき、施設の

統合等により発生した未利用地の売却などを含めた資産の有効活用。

要望：今後の財政状況を考えると、現在の行政サービスを維持していく事は困難であることから、第三者委員会等を設置し、既存事業の徹底した見直しを含む、事業の選択と集中をすることが財政健全化につながっていく。歳入確保、歳出削減に向けた着実な取り組みを要望。

### ◆放課後児童会の運営について

Q 支援員の現状について伺う。

A 市内22児童会において98名の配置計画で運用しているが、支援員の配置には至らなかった。

Q 支援員確保に向けた取り組みについて伺う。

A 市ホームページに掲載するほか、駅やコンビニエンスストアなど広範囲にわたり設置される求人広告誌を活用し、募集、周知に取り組んでいる。

Q 将来的な児童数の受け入れ推計、支援員の定数の推計について伺う。

A 平成31年には1807名の児童の受け入れ。支援員については最大で147名の配置を予定。

※本市では支援員の方々の賃金を284円引き上げ、1324円、年間で約40万円の賃金上昇を図る。

### ◆放課後児童会への民間委託の検討

Q 民間委託を検討しているとのことだが、どのような考えを持っていらっしゃるのか？

A 放課後児童支援員の確保に近隣他市も確保に苦慮している。賃金の引き上げに取り組む一方で近隣各市にアンケート調査を実施し、現地視察を行うとともに、平成29年度導入に向けて検討を進めている。

Q 本市において民間事業者が運営する事例はあるのか伺う。

A 本市における事例はないが、小学生を対象に習い事をメインとした民間学童があることは認識している。

Q 民間事業者に対する国からの補助等はあるのか伺う。

A 本市が定める基準を満たし、かつ本市が運営費の補助を行う場合に限り、補助額の3分の1を国が負担する制度があるが、学習塾やスポーツクラブなどを主とした運営をする場合は補助適用外となる。

要望：日本国内において2015年度の

の学童保育数は25541ヶ所あり、

そのうちの約48%が行政からの委託

や民間経営となっており、千葉県内

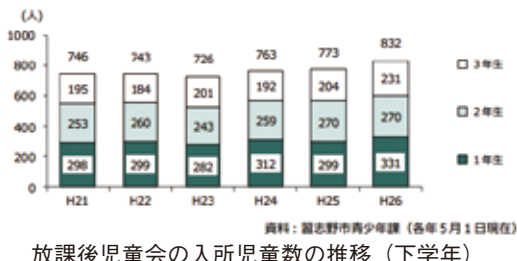
においても多くの自治体が民間活力の

導入している。現在、本市における支

援員の数は53名であり、将来必要な141名に対して大きく不足している。今後の児童数の増加や支援員の確保を考え、また、子ども達や子育て世代の方々の選択肢を広げるために、民間委託の早期導入、民間事業者の積極的な誘致の推進を要望。

◆会計別歳入歳出予算

	28年度予算(案)	27年度予算	差し引き	伸び率
一般 会 計	60,690,000	56,260,000	4,430,000	7.9%
国民健康保険特別会計	16,709,666	16,776,185	△ 66,519	△ 0.4%
公共下水道事業特別会計	7,163,446	7,602,947	△ 439,501	△ 5.8%
介護保険特別会計	9,882,143	9,536,642	345,501	3.6%
後期高齢者医療特別会計	1,769,285	1,853,359	115,926	7.0%
特別 会 計 合 計	35,524,540	35,569,133	△ 44,593	△ 0.1%
ガ ス 事 業 会 計	8,482,100	10,930,100	△ 2,448,000	△ 22.4%
水 道 事 業 会 計	3,839,900	2,858,900	981,000	34.3%
公 営 企 業 会 計 合 計	12,322,000	13,789,000	△ 1,467,000	△ 10.6%
全 会 計 合 計	108,536,540	105,618,133	2,918,407	2.8%



# 活動報告



①草津ウェストパーク視察 ②くるみ幼稚園発表会  
③狭山市給食センター視察 ④市政報告会



## ◆関根ひろゆき Report'

### PROFILE

**関根洋幸** (せきね ひろゆき)  
 1986年7月13日生まれ  
 谷津保健病院にて出生  
 習志野市立谷津幼稚園卒園  
 習志野市立谷津小学校卒業  
 習志野市立第一中学校卒業  
 習志野市立習志野高等学校卒業  
 亜細亜大学法学部法律学科卒業  
 在学中、卒業後にWestern Washington Universityに留学  
 帰国後、参議院議員、千葉県議会議員事務所を経て  
 衆議院小林鷹之公設秘書として勤務  
 2015年習志野市議会議員初当選

ホームページ  
<http://sekine-hiroyuki.jp>  
 発行：関根ひろゆき後援会  
 習志野市谷津5-29-6

討議資料

